

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		文京学院大学		設置者名		学校法人 文京学園		
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成25年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
						実数	個別	
外国語学部	英語コミュニケーション学科	240人	中一種免(英語)	平成13年度	214人	11人	11人	6人
			高一種免(英語)	平成13年度			11人	0人
経営学部	経営学科 経営コミュニケーション専攻	235人	高一種免(情報)	平成13年度	232人	1人	1人	1人
	経営学科 コンテンツ・マーケティング専攻		高一種免(情報)	平成13年度			0人	0人
人間学部	児童発達学科	130人	幼一種免	平成9年度 (平成15年度)	133人	128人	128人	33人
			小一種免	平成20年度			28人	14人
	コミュニケーション社会学科	60人	中一種免(社会)	平成19年度	55人	8人	8人	0人
			高一種免(公民)	平成17年度			1人	0人
心理学科	100人	高一種免(公民)	平成17年度	82人	7人	7人	0人	
人間福祉学科	110人	高一種免(福祉)	平成15年度	115人	6人	6人	1人	
入学定員合計		875人	合計		831人	161人	201人	55人

大学名		文京学院大学(大学院)		設置者名		学校法人 文京学園		
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成25年度)			
研究科	専攻等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
						実数	個別	
外国語学研究科	英語コミュニケーション専攻	10名	中専免(英語)	平成17年度	2人	2人	1人	2人
			高専免(英語)	平成17年度			2人	
人間学研究科	人間学専攻 保育学コース	10人	幼専免	平成11年度	1人	0人	0人	0人
	心理学専攻 心理学コース	20人	高専免(公民)	平成20年度	16人	0人	0人	0人
入学定員合計		30人	合計		19人	2人	3人	2人

備考

・「学部・学科等の名称等」欄は、平成26年4月1日現在の名称・定員である。
 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成26年12月15日（月）

実地視察大学：文京学院大学

実地視察委員：八尾坂修委員、関戸英紀委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等について、教職課程認定基準等の観点ではおおむね問題なく実施されているものの、その他では是正すべき点も確認された。今後教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 貴学としての教員養成に対する理念・構想が明確化されており、それを具体化するための教職課程に対する全学的な組織等がほぼ十分に整備されているように見受けられた。今後も、ファカルティ・ディベロップメント等を通し、学校現場に求められる課題等を常に意識しながら、教職課程における教育内容・指導体制等を充実・発展させ、教員養成の水準の維持・向上に努めて頂きたい。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 小学校の教職課程において「教育相談」及び「図工科教育法演習」を教育実習の実施後に履修させるなど、履修時期に関する方針が趣旨に照らして適切とは言い難い授業科目が確認された。「教職に関する科目」を体系的に学修できる履修カリキュラムとなるように努めて頂きたい。
- 一部科目において、成績評価の項目が不適切な科目、各科目に含めることが必要な事項が含まれていない科目、授業内容自体が不十分な科目がみられたため、適切に修正すること。
- 英語コミュニケーション学科における中高（英語）の教職課程では、「学校インターンシップ」や「児童英語教育実習」など、その他教職課程に関連のある科目を充実させていることが確認された。
- 大学としての教育目標が教員養成課程にもさらに反映されるよう、具体的な授業科目の創設やカリキュラム編成を御検討頂きたい。

3. 教育実習の取組状況

- 全般的に学生の母校において実習が行われている状況があったものの、改善の方向で取り組まれていることが確認された。教育実習は、大学による教育実習の指導体制や、評価の客観性の観点から、遠隔地の学校や学生の母校における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣の学校において実習校を確保することが望ましい。一定の地域において協力校を設けて、継続的に実習や学校見学を実施するなど、地域との協力関係を築き、実績を積み重ねていくよう努力されたい。
- やむを得ず遠隔地にて教育実習を行う場合であっても、大学として責任のある履修指導を行って頂きたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 各キャンパスに「教職委員会」及び「教職課程センター」が設置され、ふじみ野キャンパスの教職課程センターには専任の実務家教員がおり、学生の相談対応や面接指導を随時行える体制を整えている。本郷キャンパスにおいても質の高い学生への教職課程指導を行っていることを期待したい。
- 中高教職課程の履修を希望し、勉学に励む者をさらに増加させることができるよう、学校現場への参画等を通じて教職の魅力を1年次から伝えていただけるような環境づくりに努めて頂きたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 人間学部児童発達学科においては、単位化されている授業科目「社会貢献実習」や近隣市の学校における学習支援活動などを実施することで、教育委員会等と十分連携を取っていることが確認された。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 施設・設備は必要な環境が整備されており、かつ十分なスペースが確保されている。また、図書館は全て開架式となっており、図書の点数も充実していることが確認された。
- 保育実践研究センター「ふらっと文京」はキャンパス近隣の住民に開放している子育て支援施設であり、当該施設では観察室が併設されている。敷地内に併設の幼稚園もあり、幼稚園教諭を目指す学生にとって有意義な環境が整えられている。
- 外国語学部では、子ども英語教育センターが設置・活用されていることが確認された。
- 教職支援センターは学習指導要領や教科書が十分に用意されており、指導案作成等を行うことができるスペースが確保されている。

7. その他特記事項

- ふじみ野キャンパスにおいて幼児教育に関する免許状更新講習の科目を開設して頂き、貴大学の充実した教職課程を外部にも積極的に提供されることを期待する。